



教育目標「志をもち鍛える たくましい生徒」

キャッチフレーズ「靴を揃え 背筋を伸ばし 返事はハイ」

森町立泉陽中学校だより

令和元年10月23日発行

10月7日 朝礼

校長 寺田敦朗

10月に入りました。いよいよ実りの秋です。実りにはいろいろありますが、今日は三つの実りについて話したいと思います。

一つ目の実りはこれです。何かわかりますか？

そう、ラグビーワールドカップです。先々週の土曜日、日本対アイルランド戦が行われた日のエコパスタジアムの様子です。このワールドカップが日本で開催されることが決まったのは、今から10年前の2009年です。それから10年、日本代表は地元開催のこの大会に向けて着実に強化を進め、前回2015年イングランド大会で南アフリカ代表を破るなど、めざましい躍進を見せてきました。そして先日のエコパでの試合、日本代表は見事に今大会優勝候補のアイルランドに勝つという大金星をあげました。これだけでも大きな実りだと思いますが、現在3戦全勝の日本は10/13に決勝トーナメント進出をかけてスコットランドと対戦します。ここで勝って決勝トーナメントに進出すれば日本ラグビー史上初の快挙、大きな実りが手に入ります。

ただその前に、私たちが10/9にエコパで観戦するスコットランド対ロシア戦で、ロシアがスコットランドに勝利すれば、スコットランドが2敗となって日本悲願の決勝トーナメント進出に一步近づくことになります。どうですか、そんな重要な意味を持っている試合を皆さんは観戦できるのです。私は心密かにロシアを応援しようと思っています。

いずれにせよ、おそらく皆さんにとって一生に一度の貴重な体験の場です。大いに楽しんでいきましょう。

二つ目の実りはお祭りです。お祭りの起源は様々ありますが、秋祭りには五穀豊穡を祝い、神様に感謝するという意味が込められています。今週末には天方地区、26・27日には三倉地区のお祭りがあります。地域の人たちとのつながりも含めて大切な伝統行事です。私は自分の地区で社長や中老長を務めたこともあり、大のお祭り好きで、参加してこそのお祭りだと思っています。積極的に参加して大いに楽しんでください。ただ、ルールはしっかり守って事故のないお祭りにしましょう。

三つ目の実りは泉祭です。閉校に向けて皆さん自身の手で作詞作曲した閉校ソング、全員合唱の「次の空へ」、そして伝統の校歌合唱。これらを素晴らしい曲に仕上げて大きな秋の実りとしてほしいと思っています。今年はそのために「次の空へ」の作者である弓削田さんにわざわざ九州の大分から泉陽中へ来て指導とコンサートを行っていただきます。また、閉校ソングは合唱版校歌も作ってくださった声楽家の黒田さんが、あと3回、やはりはるばる東京から指導に来てくださいます。10/31の森中ときわ祭でもステージに立ちますから、それらの晴れ舞台に向けて、この10月は充実した練習をしていきましょう。

今日は三つの実りについてお話をしました。10月の実り、豊かな実りになるといいですね。

以上でお話を終わります。

泉陽中卒業生のみなさんへ

泉陽中学校では2020年3月の閉校に際して、閉校誌「残す・繋ぐ 泉陽魂」を発行する予定です。泉陽中の歴史を綴るとともに、在校生や職員、関係者の閉校にあたっての想いを掲載する予定です。この閉校誌に、卒業生の皆さんもぜひ閉校にあたっての想いを寄稿してみませんか。

【寄稿方法】

- 1 タイトル・内容…泉陽中在学中の思い出、閉校に対する思い。
- 2 字数…500～600字
- 3 寄稿方法
卒業年次（中学3年生時の年度）・名前（改姓された方は旧姓も）を明記して、電子メールで泉陽中へ送ってください。
jhs-senyo@town.morimachi.shizuoka.jp
スパムメールと区別するために件名には「閉校誌寄稿」と明記してください。
- 4 締め切り…11月末日
- 5 こちらで校正作業をして、基本的には寄稿されたものすべてを掲載する予定ですが、内容的に不適切であると判断したものについては、掲載を見送る場合があります。

多くの皆様の寄稿をお待ちしています。